

# 九州地方の火山活動解説資料(平成 18 年 12 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

## 【12月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。  
霧島山(新燃岳)、薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

### 九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

九重山[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山  
[ 御鉢 静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
[ 新燃岳 やや活発な状況(レベル2)] 3日に静穏な状況(レベル1)から引上げ  
3日に火山性地震が多発し、その後は消長を繰り返しながらやや多い状態で経過するなど、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]  
南岳山頂火口では小規模な噴火が観測されましたが、昭和火口からの噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]  
地震活動、噴煙活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]  
火山性地震や微動はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]  
噴火や爆発的噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいいます。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料(平成 19 年 1 月分)は 2 月 8 日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

## 火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概要
霧島山	火山観測情報第 7 号	12 月 3 日 17 時 35 分	<p>やや活発な状況(レベル 2) 3 日に静穏な状況(レベル 1)から引上げ</p> <p>新燃岳では、3 日に火山性地震が多発し、火山活動がやや活発な状態になったと判断し、レベルを引上げました。火口付近では注意が必要です。</p> <p>御鉢は、静穏な状況で経過しました。</p>
	火山観測情報第 8 号	12 月 5 日 16 時 20 分	<p>やや活発な状況(レベル 2)</p> <p>5 日に実施した現地観測結果では熱活動の高まりを示す変化は観測されませんでした。火山性地震はやや多い状態が続き、火山活動はやや活発な状況で経過しました。火口付近では注意が必要です。</p> <p>御鉢は、静穏な状況で経過しました。</p>